

OSK KHJ岡山きびの会

平成 12 年 9 月 20 日 第 3 種郵便物認可(毎月 25 日発行)

平成 27 年 5 月 17 日 OSK 増刊通 315 巻号

<http://kibinokai.ciao.jp> 「メッセージ・21」

第 140 号(平成 27 年 5 月)



『KHJ岡山きびの会』のご案内

2015 年度 年会費 正会員 6000 円 賛助会員 3000 円

月例会参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1000 円

郵便振込先 01380-6-77803 KHJ岡山きびの会

※ご入会・ご寄付は随時受け付けております。

連絡先 会長 榎谷 富子 〒702-8002 岡山市南区福成 1-128-4 【電話】090-2094-9589

居場所 岡山市北区表町 1 丁目 4-64 上之町ビル 4 階(市電・城下電停すぐ、アーケードに隣接)
月・水・土曜：午前 11～午後 4 時、金曜：午後 1 時～6 時(詳しくは巻末をご覧ください)

「KHJ 岡山きびの会」のお願い

不登校・ひきこもりの子どものことで悩んでいる親どうしが情報を交換し、親の気持ちが癒され、元気づけられ、「この子がいてくれて本当に良かった」と心から思えるようになることを目指します。そして本人たちが自分の意思と選択と決定において生き生きとして社会参加できるようになることを支援します。

グループでの話し合いの約束

- ここでの話はここだけのことにしましょう。
- 相手の話は受容しながら聴きましょう。
- 非難・批判はしないようにしましょう。
- 長く会に参加している人は新しい人に手をさしのべましょう。

<5月例会のお知らせ>

日時 平成27年5月10日（第2日曜日）午後1時半～5時
場所 きらめきプラザ2階 ゆうあいセンター 大会議室全室
岡山市北区南方2丁目13-1 電話：086-231-0532
内容 ● 演題 ひきこもりと福祉
● 講師 香川オリーブの会 理事 泉 善法さん

- ひきこもり相談会（役員による来談者へのオリエンテーション）

参加費 正会員 500円 正会員以外の方 1,000円

<6月例会のお知らせ>

日時 平成27年6月14日（第2日曜日）午後1時半～5時
場所 きらめきプラザ2階 ゆうあいセンター 大会議室全室
岡山市北区南方2丁目13-1 電話：086-231-0532
内容 ● 演題 「ひきこもり」についてのある卒業論文の解説
講師 KHJ岡山きびの会顧問 川島 炫三さん

- ひきこもり相談会（役員による来談者へのオリエンテーション）

参加費 正会員 500円 正会員以外の方 1,000円

これからの岡山きびの会の方向をかんがえよう

岡山きびの会顧問 川島 焔三さん

講演会の変更

今日は、会報等でご連絡のように、香川ポレポレ農園の松田先生の講演会を予定しておりましたが、松田先生の体調が思わしくなく、急遽私がお話しさせて頂くことになりました。

「KHJ 岡山きびの会」の現状

今日はこれからの「KHJ 岡山きびの会」の方向などを皆さんと話し合いながら、話をすすめていきたいと思えます。そのための問題提起ができたらと思っています。今友野さんが言われていましたが「フリースペースあかね」には何とはなしに人が集まって来て、そこでいろんな形で接触することを重ねるうちに徐々にわだかまりが解けてきて、巣立っていけるようになる事がうかがわれます。しかし上ノ町の居場所活動は部屋の構造も違い、利用者の年齢も違い、何か集まりにくい感じもあるようです。当番さんがぼつんと一人で所在無く無為に過ごしているような感じがすることもあります。

私達の上ノ町の居場所も「あかね」のような場所にならないか、何とはなしに集まれてほっとできる居場所作りが出来ないかと思っています。香川オリーブの会には「ポパイの会」という若者の会があり、ある意味では岡山より活発に活動しているようにも思われます。

問題提起

そこでそのような条件をどのように考えたらよいのかの問題提起をしたいと思えます。親がまず居場所に出て来易くするには、社会的な雰囲気作りが大切であると私は考えています。ひきこもっていて「風が悪い」という意識が強く、何か後ろめたく、元気が出ず、疲労が蓄積し、病気になってしまう傾向があります。しかし私は今の世の中では、ひきこもっている人は優しい人であり、そのような人はひきこもるのが当然であると思っています。人を蹴飛ばさないと生きていけないような社会です。所謂健常者といわれる人たちの自我の犠牲者がひきこもります。多くの親の場合、そのように確信でききれないところに苦しみがあり、割り切れないで悶々としている場合が多いように見受けられます。

世間の風潮は、私の考えとは逆で、子どもをひきこもらせたのは親の教育の仕方が悪かったからだという雰囲気があります。多くの親も半分はそう思っています。日本中のどの町や部落にも民生委員という方が居り、たぶん殆どの民生委員さんも私とは逆の考えをしているでしょう。とすればその民生委員さんたちにひきこもりする人たちの気持ちをまず理解していただける風潮を作り出すことが肝要と思われます。それは自分の家のことを民生委員さんに話し、SOSを発信する勇気を持つことから始めることになります。果たして皆さんその気になれるかと言えば、殆どの方がその気になれないのが実情でしょう。私はそういう状況が問題だと考えています。そういうことが出来れば、自分はこんな風に言ったけど、こんな風に言われたという話題も出てきます。自分の気持ちを理解してくれるような誰かに、例えばきびの会の会員さんに話したくなります。定例会にこられる方はそんな気分の方々であろうと考えられます。そのような問題意識を持つことは可能でしょうか。

そんな話し合いが出来るかどうかを確認しながら、どうしたらひきこもりからの脱出が可能かなどを話し合いたかったのですが、4月の例会では、その話題提供のための理論的な条件をお話し始め、実際の話し合いには到達できませんでした。私の中では、2007年に厚労省の助成事業「精神障害者及び家族の相談員制度の効果的運用」で目指した理念が、今年の岡山県県民生活交通課の事業募集において、発展的に継続できる可能性があるように思われ、事業申請しようと思い、鋭意検討してきました。この事業申請には地域コミュニティとの連携が必要条件になっていました。とすると、地域の民生委員さんとどのように連携できるかということが当然大きくクローズアップされてきます。

4月の例会では、そのような具体的な話し合いになりませんでした。そのような問題意識はこれから益々重要になってくると思われますので、そのような観点から地域での話し合いを避けずに、積極的に参加しながら、地域社会での状況を皆で話し合えるようにしていくことが大切ではないかと思われます。

つまり行政の伝達機関としての保健所や市町村の保健師さんや民生委員や愛育委員の指導と共に、「本人にしっかりと寄り添える相談員制度の確立」が急がれるように思います。一方向からだけではなく、オルタナティブな（別の）方向からの支援が必要なわけです。これは制度として確立する必要があります。

これからの方向性

そのような方向性を定めながら、「KHJ 岡山きびの会」ではこれからどうしたらよいか考えていきたいと思っています。現在のところ私は津山の会も代表もしているわけですが、若者が自主的に集って活発に活動するという状況がなかなか生まれてこず、親や支援者の方から少々テコ入れをしながら細々とやっている状況です。津山は田舎ですけど、岡山はかなり都会化していますから、若者が集り易い状況があります。そして香川のオリーブの会やポパイの会などと連携をしていけば大分様子が変わってくると思います。

「NPO 法人 KHJ 香川県オリーブの会」は「グローバルシップスこうべ」の森下徹さんに「ポパイの会」を指導していただくようお願いしているようです。大体毎月か隔月でレクとか、催しを計画実行しています。毎回十数名の参加者があり、そこには小さなお子さんを連れのおかあさんも参加されています。私たちが香川に行ったり、香川から来てもらったりする関係が多くなれば、それだけ活動の幅が広がります。

「KHJ 岡山きびの会」の若者学級は前年度あたりからおしゃべり会・新年会などと、活発になりつつあるように思います。当事者の皆さんが集れる雰囲気・状況をどうやって作るかが今後の課題でしょう。父親学級・母親学級なども今のところなかなか盛り上がりなかつたけれど、ウオーキングなどの計画もあり、集って楽しくなれるような様々な工夫が必要と感じます。

「NPO 法人津山・きびの会」は県からの事業募集で「多様な事業主体の協働による地域支援事業」の構想にたどり着き、「ひきこもり、最も大切で最も困難な問題」として、「本人目線による相談委員制度の確立」を目指して活動して行き、いつか大きく合流する時が来るように思います。うちの子供は「ひきこもっています、困っています、たすけてください」と卑屈にならないで言える環境・雰囲気を作っていかなければと考えています。そして多くの支援者がサポートを申し出られる環境をつくっていきたいと思っています。

最後に5分ぐらいずつ感想や意見・現状報告などをしていただきました（主なものをあげます）

ちょっと、目線というか視点を変えてみたいのですが、今日のご父兄の方そして当事者の方も出席されていますが、せつかくの月例会に参加されて何も話されないで帰られるのはもったいないと思います。5分間位でも結構ですが、ぜひお話していただけたらと思います。

- 昨年の夏ごろ、主人が脱水症状から体調が悪くなってしまいました。夜中に急救病院に受診したりと私は大変でしたが、子どもは案外無関心のように感じられた。
- きびの会の居場所は部屋が一つしかないので困ることもあります。
- やはり、当事者から見たら一番の居場所は家庭だと思う。そしてきびの会のような居場所があつて、そこから就労につながればと思う。
- 私の場合、両親も高齢になって親から頼りにされてきたように感じます。何かあつたら私も頑張らねばと思っています。
- 市役所の担当職員の人にもきびの会の例会とか居場所に参加してもらったらどうでしょうか。

いかがでしたか、感想・ご意見を聞かせてください。

- 埼玉のKHJで当事者の兄弟姉妹の会が発足したことを知り、岡山でもそういった会があればと思いました。
- きびの会のこれから、について話し合う事が出来て良かったのでは、、、当事者の方が自分たちの力が、出していけるような居場所になっていけばいいと思います。
期待しています

お知らせ掲示板

H27 年度 居場所活動

いつも居場所活動にご協力・ご参加いただき有難うございます。何卒本年度もよろしく願致します。

曜日	担当者	内容
月曜日 11時～16時	山本さん	カウンセリング など
水曜日 11時～16時	友野さん 尾形さん	ピアサポータ 母親学級
第3水曜日 15時～17時	花谷さん	パソコン教室
金曜日 13時～18時	樋谷さん	読書・おしゃべり
第1土曜日	友野さん	父親学級
第2土曜日	畑さん	家族教室
第3土曜日	中西さん	松田先生カウ セリング
第4土曜日	樋谷さん	若者学級 樋谷周平

本年度から居場所活動全般の担当・相談の方をお願いしておりましたが、調整が不十分でした。申し訳ありません。訂正させていただきます。

居場所のたこやきパーティーにいらっしやい。

日時 6月1日(月) 11:00～

連絡先

☎ 樋谷 090-2094-9589 まで

NPO 法人津山・きびの会

『トトロの家』のご案内

『トトロの家』は、不登校・ひきこもりの方が安心して集える居場所です。相談や就労支援もしています。若者を中心にして、赤ちゃんからお年寄りまで、みんなが知恵を出し合って安心できる居場所を目指しています。どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。

トトロの家 (0868-23-0028) の住所
〒708-0863 津山市小桁 137-2
連絡先 川島 焔三 (090-7541-5263)

居場所活動の読書サロン

読書サロンが若者でいっぱい！！
文学少女シリーズの短編集に入った頃から異変！ 担当者はうれしい限りです。
アニメ・音楽・TV・映画等々、第4土曜日若者学級も同じ担当世話人です。
※第4土曜日の居場所活動若者学級が午後1時から午後6時までになります。

連絡先

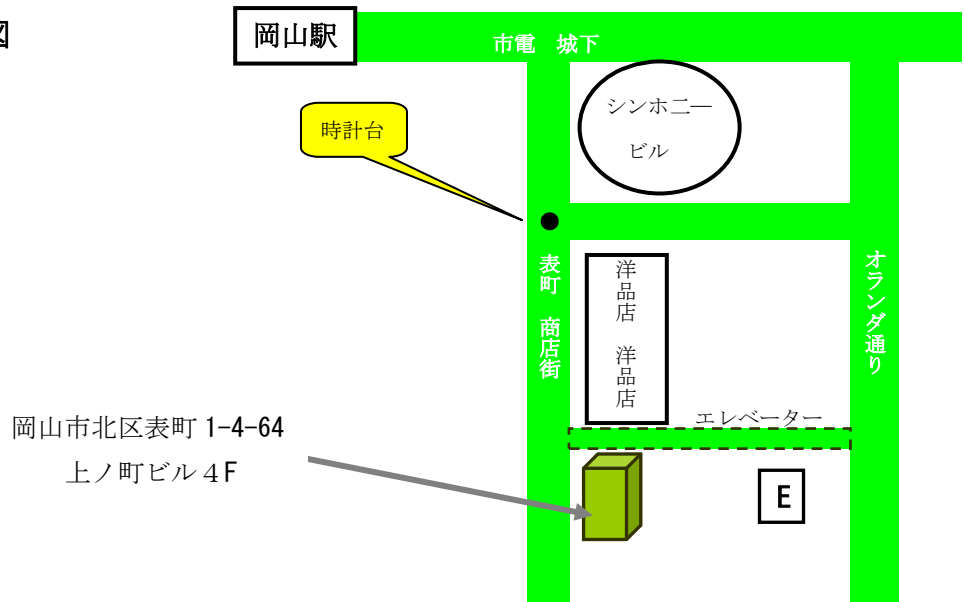
樋谷 富子 090-2094-9589

きびの会 居場所・行事カレンダー

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1 居場所	2 父親学級 居場所
3 休日	4 休日	5 休日	6 休日	7	8 居場所	9 家族教室 居場所
10 定例会	11 居場所	12	13 居場所	14	15 役員会 居場所	16 松田先生 居場所
17 休日	18 居場所	19	20 PC 教室 居場所	21	22 居場所	23 若者学級 居場所
24 休日	25 居場所	26	27 母親学級 居場所	28	29 居場所	30 居場所
31 休日						

きびの会 居場所 地図



家族教室 (原則)第2土曜日 午後 1 時半 ~ 4 時 担当:西紀子さん

松田相談日 (原則)第3土曜日 午前 9 時 ~ 午後 6 時 担当:松田勝カウンセラー

ご予約:中西 電話 090-9500-9618 または 086-955-2857

料金:会員は1時間3,000円 ※定員8名とさせていただきます

母親学級 (原則)第4水曜日 午後1時半~4時

父親学級 (原則)第1土曜日 午後1時半~4時

若者学級 (原則)第4土曜日 午後1時半~4時

パソコン教室 (原則)第3水曜日 午後3時~5時

お問い合わせ:花谷 電話 080-1908-3861

平成12年9月20日 第3種郵便物認可 (毎月25日発行) 平成27年5月17日発行 OSK 増刊通巻315号

発行所 岡山障害者団体定期刊行物協会 702-8025 岡山県岡山市南区内尾 739-1 綾部小百合 (TEL 086-263-7537)

無断での掲載、転写は禁じます。(定価100円は会費に含まれています)

平成26年度岡山県ひきこもり社会適応支援事業収支決算書

自平成26年4月1日至平成27年3月31日

収入	金額	支出	金額
県のより事業費	918,640	報償費	416,800
		需要費	21,532
		役務費	73,440
		会場使用料	447,888
		合計金額	959,660
		会より補填	-41,020

平成26年度岡山市ひきこもり者支援事業補助金収支決算書

自平成26年4月1日至平成27年3月31日

収入	金額	支出	金額
市より事業費 (未収金A)	199,000	謝礼金	166,980
		会場費	41,080
		合計金額	208,060
		会より補填	-9,060

平成26年度収支決算報告書

自平成26年4月1日至平成27年3月31日

収入	金額	支出	金額
正会員年会費	168,000	県事業補填	41,020
賛助会年会費	15,000	市事業補填	9,060
資料代収入	101,500	通信費	45,173
寄付金収入	66,700	手数料	0
受取利息	121	交通費	128,800
物品販売	0	文具消耗品費	12,201
雑収入	0	KHJ本部費	62,400
		OSK本部費	2,580
		交際費	0
		雑費	3,859
		若者交流費	5,500
計	351,321	計	310,593
前期繰越	199,360	次期繰越	240,088
小計	550,681	小計	550,681
県の事業	918,640	県の事業	918,640
未収金(市A)	199,000	市の事業	199,000
合計	1,668,321	合計	1,668,321

次期繰り越し内訳(中銀¥174,088-、郵便局¥66,000-)

平成27年4月8日

団体名 KHJ岡山きびの会

住所 岡山市南区福成1-128-4

会長 植谷富子 (植谷)

監査の結果、正しく処理されている事を報告します

会計監査

原田光明 (原田)

平成26年度活動報告書

(自平成26年4月1日～平成27年3月31日迄)

KHJ 岡山きびの会

1. 月例会

- 岡山市から「ひきこもり支援事業補助金」を受け毎月第2日曜日に講演会及び悩みのお話し合いを実施してきました。
- 若者中心にと願った、26年度の月例会は若者中心の「ひきこもり大学」を4月と12月にNPO法人グローバルシップスこうべ代表の森下徹さんに御指導頂きました。
- きびの会で羽を休め、今、羽ばたいている若者を講演者として迎える事ができました。
- KHJ本部でも力を貸して頂いています。フリージャーナリストの池上正樹さんを5月に迎え会員の他に報道関係の方も来場されました。

2. 居場所

- 岡山県から「ひきこもり社会適応支援事業」を受託し、毎週、月、水、金、土曜日に居場所活動を実施した。
- 若者学級を6月から第4土曜日に持つことができ、参加者もだんだん増えてきました。特に1月の新年会では12名集まり盛会でした。

3. 家族教室

- きびの会発足以来月1回親御さんの悩み相談とお話し合いを実施しています。

4. カウンセリング

- 居場所活動の中で居場所でのカウンセリングと訪問支援を月数回行いました。
- 月一度予約を取って8名定員としてカウンセリングを行っています。
- KHJ本部主催のピアカウンセラーの研修を修了した新人が生まれました。まだまだ勉強が必要だと思えます。

5. パソコン教室

- 6月より都合により休講しました。10月から助手が講師を務めています。

6. 役員会

- 今年度は新しい会長の元で全役員の助けを受けて頑張りました。

7. 特別活動

- ポレポレ農園岡山支部を松田先生中心に発足、会員数人参加しました。

平成27年度活動方針

(自平成27年4月1日～平成28年3月31日迄)

KHJ 岡山きびの会

1. 月例会

- 岡山市の援助を受けながら月一回月例会を開催します。
- 親同士の情報を交換したり、会合そのものが「ホッ」とできる場所であり続ける環境を作ります。
- 昨年度より始めた若者中心の「ひきこもり大学」を継続発展させて行く

2. 居場所活動

- 岡山県のひきこもり社会適応支援を受託して、居場所活動を活発に推進するように考えています。
- 昨年度より始めました、若者学級が自分たちで学級運営もできる様に補助してゆきたいと思えます。

3. 会報

- 会員が知りたい様な情報を紹介します。
- 若者のセンスを生かした会報を作成する。

4. カウンセリング

- 松田先生（第3土曜日）、山本先生（毎週月曜日）、西先生（第2土曜日家族教室）、小坂先生（月例会の相談役）に昨年同様に継続推進してゆきます。

5. 他に学

- KHJの大会が四国4支部合同で高松市で行われるので会員さん達に呼びかけ、多くの人の参加を呼びかけます。

6. 行政との連絡

- 岡山県、岡山市とは更に緊密な関係を維持していきます。

7. 特別活動

- ポレポレ農園岡山支部を松田先生中心に、今年も継続発展を目指します。

平成27年度収支予算案

	①	②	②-①		④	⑤	⑤-④
収入	26年実績	27年予算額	増減	支出	26年実績	27年予算額	増減
正会員年会費	168,000	168,000	0	県事業補填	41,020	43,012	1,992
賛助会年会費	15,000	15,000	0	市事業補填	9,060	11,960	2,900
資料代	101,500	101,500	0	通信費	45,173	98,800	53,627
寄付金収入	66,700	17,000	-49,700	手数料	0	0	0
受取利息	121	121	0	交通費	128,800	169,360	40,560
物品販売	0	0	0	文具消耗品費	12,201	14,078	1,877
雑収入	0	0	0	KHJ本部費	62,400	70,600	8,200
			0	OSK本部費	2,580	2,580	0
			0	交際費	0	0	0
			0	雑費	3,859	9,577	5,718
			0	若者交流費	5,500	31,500	26,000
計	351,321	301,621	-49,700	計	310,593	451,467	140,874
前期繰越	199,360	240,088	40,728	次期繰越	240,088	90,242	-149,846
小計	550,681	541,709	-8,972	小計	550,681	541,709	-8,972
県の事業	918,640	918,640	0	県の事業	918,640	918,640	0
未収金(市A)	199,000	199,000	0	市の事業	199,000	199,000	0
合計	1,668,321	1,659,349	-8,972	合計	1,668,321	1,659,349	-8,972

平成27年4月8日作成

団体名 KHJ岡山きびの会

住 所 岡山市南区福成1-128-4

氏 名 槌 谷 富 子